



日本物理教育学会 ニューズレター

学会行事 | 物理教育関連行事 | 支部行事 | イベントカレンダー | 事務局より

第 33 回 物理教育研究大会の報告

8 月 6 日 (土) と 8 月 7 日 (日) の 2 日間に渡って、第 33 回物理教育研究大会が開催されました。新潟開催となった今年度は、新潟大学五十嵐キャンパスを会場にして、150 名を越える皆様からご参加をいただきました。

「アクティブラーニングを実現する物理教育」をテーマに、36 本の原著講演、12 本のポスター発表がありました。また特別講演にはオレゴン大学から David Sokoloff 氏をお招きしました。会場では参加者を交えた活発な意見や質問が英語で飛び交いました。2 日目には、日本物理教育学会奨励賞を受賞された檀上慎二氏の記念講演の後、金長正彦氏、植松晴子氏、谷口和成氏の 3 名の講師にそれぞれワークショップを開いていただきました。このような試みは初めてでありましたが、どのワークショップも大盛況となりました。時間いっぱいまで全体討論で議論されたことは、これからも各地で実践されるアクティブラーニングへとつながっていくものばかりでした。

参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。また来年お会いしましょう。

■特別講演：David Sokoloff 氏 (オレゴン大)

「Interactive Lecture Demonstrations: An Effective Active Learning Strategy for Lecture (相互作用型の演示実験講義：講義をアクティブラーニング型に変える効果的手法)」

■日本物理教育学会奨励賞：檀上慎二氏 (四天王寺学園中学校)

「『万博公園理科実験野外教室』の 7 年間の取組み」

イベントカレンダー

- 10/8 (土) 14:30～
物理教育を考える会 II
於：甲南大学
- 10/29 (土) 11:30～
日本物理教育学会東北支部第 31 回研究大会
於：山形大学小白川キャンパス
- 11/6 (日) 9:00～
サイエンスフェスタ交流会
於：大阪大学中之島センター
- 11/13 (日) 午後
物理教育シンポジウム
於：北海道大学
- 11/26 (土) 14:00～
物理教育研究集会
於：大阪市立科学館
- 11/26 (土) 13:00～
日本物理学会 公開講座
於：東京大学本郷キャンパス
- 11/26 (土) 13:00～
市民講座「物理と宇宙」
於：京都大学百周年時計台記念館
- 11/27 (日)
高校物理の授業に役立つ基礎実験講習会 in 新潟
於：新潟大学駅南キャンパスときめいと
- 12/3 (土) 午後
物理教育研究会
於：北海道大学
- 12/10 (土) 11:00～
第 4 回高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 東北 (福島)
於：福島県立安積高等学校
- 1/10 (火)
高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 北海道
於：札幌北高校
- 1/28 (土) ～29 (日)
青少年のための科学の祭典
於：アオーレ長岡

■ワークショップ：

- ・協同的グループ問題解決法：金長正彦氏（電気通信大）
- ・チュートリアル：植松晴子氏（東京学芸大）
- ・相互作用型演示実験講義（ILDs）：谷口和成氏（京都教育大）



【写真】ソコロフ氏による特別講演：熱心に耳を傾ける参加者から意見を引き出しながら進められました。

GIREP との協定の経緯

本会は GIREP（Groupe International de Recherche sur l'Enseignement de la Physique）との間で協定書を取り交わしました。GIREP はヨーロッパを中心に物理教育研究を積極的に行っている学会です。協定書の交換は、7 月にサンパウロで行われた WCPE（World Conference on Physics Education）において、Melissa Michelini（GIREP 会長）と新田英雄（本会 副会長）が行いました。その協定書の全文は、本ニューズレターの末尾に付録として掲載してあります。

この協定には、両学会との協力関係を推進すること、その一環として、会議や活動の情報交換をすること、それぞれの会議に会員価格で参加できることなどが記されています。会員の皆さんが、これを活用されることを期待しています。

GIREP は今年創立 50 周年を迎え、記念セミナー（8 月 30 日～9 月 3 日）を開催しましたが、それに対して本会から祝辞を送りました。

2017 年度以降の会費自動引落とし登録原票提出のお願い

かねてより準備を進めてまいりました、年会費の自動引き落としが、2017 年度会費より可能になりました。ご案内詳細と必要な手続きにつきましては、会誌 64-3 (2016) 237 ページ、並びに本学会ホームページ「会費自動引落」(<http://pesj.jp/about#1>) の 3 項目「案内」「記入見本」「振替依頼書」を参照してください。

本学会費は前納が原則となりますので、2017 年度会費が 2017 年 3 月に引き落とされます。2016 年 12 月までに登録が完了した会員について、2017 年度会費から自動引き落としが適用されます。また、会費減免に該当する方は、事務処理の都合上、お手数ですが、従来通りの振込方法による納入をお願いします。なお、2016 年度までの会費（未納の方）は、従来通りの、次のいずれかの方法で納入をお願いします。なお、ご入金の際は、会員番号、氏名を明記願います。

- ① 郵便払込取扱票（「物理教育」各巻 1 号、2 号に綴じ込み）による入金／払込手数料は不要です。
- ② 銀行振り込み（以下、いずれかの口座）／振込手数料が必要な場合はご負担下さい。
 - ・ ゆうちょ銀行：店番 019 店名〇一九店（ゼロイチキュー店）当座 0117190
ニホンブツリキョウイクガッカイ
 - ・ 三井住友銀行：大塚支店 普通 0601232 ニホンブツリキョウイクガッカイ
カイチョウ ムラタタカトシ

会費は正会員 8,000 円、購読会員は 10,000 円です。なお、学生の正会員は申請により 4,000 円に、20 年以上継続して会員であって退職した正会員の年会費は申請により 5,000 円に減免することができます。

日本物理学会 2016 年度公開講座のご案内

日本物理学会主催の公開講座が下記の通り開催されます。どうぞご参加ください。

- ▶日時：11 月 26 日（土）13:00～16:45
- ▶会場：東京大学本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール
- ▶参加費：無料
- ▶定員：350 名（申込先着順）
- ▶テーマ：「一般相対性理論と宇宙－重力波研究の最前線－」
- ▶内容

1916 年にアインシュタインが発表した重力波の理論から今年でちょうど 100 年。その間

の目覚ましい科学技術の進展により、去る 2 月、アメリカの LIGO グループがアインシュタインですら困難と考えていた重力波の直接検出に成功し、大きな話題となりました。新たな重力波の世紀が幕を開けたいま、第一線で活躍されている研究者による「重力波研究の歴史」「重力波の理論とシミュレーション」「重力波の観測」などのお話で、はるか彼方、宇宙の出来事を奏でる波に思いを馳せてみませんか？

▶主催：日本物理学会

▶後援：日本物理教育学会，東京都教育委員会，千葉県教育委員会，埼玉県教育委員会，
神奈川県教育委員会

▶詳細・お申込：

<http://www.jps.or.jp/public/koukai/koukai-2016-11-26.php>

▶ご案内ポスター：

<http://www.jps.or.jp/public/koukai/files/koukai-2016-poster.pdf>

市民講座「物理と宇宙」のご案内

京都大学で市民講座「物理と宇宙」が開催されます。どうぞご参加ください。

▶日時：11 月 26 日（土） 13:00～17:15

▶会場：京都大学百周年時計台記念館（大ホール）

▶受講料：無料

▶対象：中高校生以上

▶定員：500 名

▶プログラム

講演 1 篠本滋（京都大学理学部物理学第一教室 准教授）「脳の計算原理を探る」

講演 2 田中貴浩（京都大学理学部物理学第二教室 教授）「重力波直接検出の意味」

▶主催：

京都大学大学院理学研究科 物理学・宇宙物理学専攻，京都大学基礎物理学研究所

▶共催：日本物理学会京都支部

▶後援：京都新聞，京都市教育委員会，京都府教育委員会，滋賀県教育委員会

▶詳細・お申込：

http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/news/public_lecture.html

▶ご案内ポスター：

http://www.scphys.kyoto-u.ac.jp/news/public_lecture_data/shimin2016/shimin2016.pdf

北海道支部より

【今後の活動予定】

▶ 物理教育シンポジウム

日時：11 月 13 日（日）午後

会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 4 階 410 教室

▶ 物理教育研究会

日時：12 月 3 日（土）午後

会場：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 4 階 410 教室

▶ 高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 北海道

日時：2017 年 1 月 10 日（火）

会場：札幌北高校

東北支部より

【今後の活動予定】

▶ 日本物理教育学会東北支部第 31 回研究大会

日時：10 月 29 日（土）11：30～

会場：山形大学小白川キャンパス

▶ 第 4 回高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 東北（福島）

日時：12 月 10 日（土）11：00 頃～

会場：福島県立安積高等学校

新潟支部より

【今後の活動予定】

▶ 高校物理の授業に役立つ基礎実験講習会 in 新潟

日時：11 月 27 日（日）（予定）

会場：新潟大学駅南キャンパスときめいと

▶ 「青少年のための科学の祭典」協力・参加

日時：2016 年 1 月 28 日（土）～29 日（日）

会場：アオーレ長岡

■ 問合せ先：新潟県立新潟工業高等学校 西脇正和

nishiwaki.masakazu(at)nein.ed.jp

（ただし (at)は@に置き換えてください）

近畿支部より

【今後の活動予定】

▶物理教育を考える会 II

日時：10 月 8 日（土）14:30～17:35

会場：甲南大学

▶サイエンスフェスタ交流会

日時：11 月 6 日（日）9:00～12:00

会場：大阪大学中之島センター

▶物理教育研究集会

日時：11 月 26 日（土）14:00～17:30

会場：大阪市立科学館

事務局より

▶E.F.Redish 著・日本物理教育学会監訳「科学をどう教えるかーアメリカにおける新しい物理教育の実践ー」（丸善出版）が第 6 刷となり、大変好評を得ています。詳細は、下記サイトをご覧ください。

http://pesj.jp/doc/per_book2013.pdf

▶本会では物理教育研究メーリングリスト(ML)を設けており、本会正会員（学生会員を含む）であれば、どなたでも参加できます。参加を希望する会員は、subject 欄に「per-ml 参加申し込み」、本文として、日本物理教育学会会員番号と氏名を記載した e-mail を、ML への投稿に使用するメールアドレスから以下のアドレス宛てに送付してください。

per-ml-adm (at) pesj.jp （ただし、(at)は@で置き換えてください）

ML の詳細については、次のウェブサイトを参照してください。

http://pesj.jp/research/ml_per

▶ニューズレターで広報したい行事などありましたら、11 月 30 日までに以下のアドレス宛にご連絡ください。

news(at)pesj.jp （ただし、(at)は@で置き換えてください）

編集委員会で掲載の適否を審議し、記述を編集いたします。

発 行：日本物理教育学会会長 村田 隆紀

編 集：日本物理教育学会 ニューズレター編集委員会

発行日：2016 年 10 月 3 日



Mutual Agreement of Cooperation between PESJ and GIREP

PESJ (the Physics Education Society of Japan) and GIREP (the Groupe International de Recherche sur l'Enseignement de la Physique) hereby conclude this agreement to promote academic cooperation between the two organizations.

PESJ and GIREP will make an effort to promote and develop cooperation in the following activities, upon the principles of equality and reciprocity.

- Exchange of academic publications, information and flyers about each organization,
- Exchange of information of PESJ and GIREP conferences through their websites and newsletters, and/or emails to their members
- Offer of member registration rates at their conferences to members of either organization. Thus, GIREP members will be able to attend PESJ conferences at PESJ member rates and vice versa.
- Offer to develop an exchange of conference slots (in the form of a symposium, workshop, or a complete session of papers) at each other's conferences.
- Maintenance of open communication about relevant activities and events of the two organizations.
- Developing other ways of cooperation in the future based on the above premises.

In order to carry out the activities mentioned above, a memorandum will be exchanged after mutual consultation between the two organizations if it is necessary. However, each organization does not assume any financial responsibilities by this agreement.

This Mutual Agreement shall come into effect on the date of the signatures of representatives of the two organizations and shall be valid for a period of three years. It will thereafter be automatically renewed every three years subsequently unless either organization notifies its intention of termination at least three months prior to the expiration date.

PESJ –Physics Education Society of Japan GIREP – Groupe International de Recherche sur l'Enseignement de la Physique

村田隆紀

Takatoshi Murata
President

May 12, 2016

Marisa Micheli

Marisa Micheli
President

May 10, 2016